

令和7年度 盛岡市子ども未来基金助成事業活動報告書（5～12月分）

事業名	楽しく体を動かす経験を！ウキウキKids！					
事業者名	認定NPO法人いわて子育てネット					
事業の実績 （日時・場 所、参加 者、内容、 参加者の様 子など）	【日時】 15：45～16：30（2回/月）					
	【場所】 もりおか子育て応援プラザma*mall セミナールーム					
	【参加者】 表のとおり。97名（1/28現在）					
	【内容】 幼児期の身体づくり（筋力・バランス感覚・運動能力の基礎）をテーマに、 ケガをしにくい体、将来どんなスポーツにでも取り組める体の土台づくりとし て「コアキッズ体操」に取り組む。					
	【講師】 一般社団法人Bondsスポーツクラブ中村 葉子氏（教員免許（中高保健体育）、 Basiピラティスマットインストラクター、（公財）日本コアコンディショニング 協会認定資格保有、（公財）日本コアコンディショニング協会コアキッズ体 操普及員）					
		日にち	申込数（組）	申込数（人）	参加者数 （組）	参加者数 （人）
	7月	4	6	13	4	9
		18	5	11	3	6
	8月	8	3	6	3	6
		22	4	9	4	9
	9月	5	4	9	1	3
		19	5	12	2	5
	10月	3	7	15	5	11
		17	6	14	4	9
		31	8	19	6	14
	11月	14	7	17	4	9
		21	10	24	4	9
	12月	12	9	21	3	7
		16	5	12	3	6
	1月	23	5	11	4	8
6		5	11			
2月	20	5	11			
	6	5	11			
3月	13	5	11			
	合計	104	237	43	97	
※コアキッズ体操とは…人が産まれてから立ち上がるまでの身体機能の獲得を、発育発達の段階に則したエクササイズに落としこんだ画期的な体操である。本事業では、コアキッズ体操を軸に、幼少期にお						

おすすめの「からだ遊び」を楽しむ場を作る。「私は運動が苦手だから・・・」「子育てで疲れて、運動どころではない」というパパやママにもおすすめの、簡単で楽しいエクササイズである。

【参加者の様子】



※指導者よりコメント

指導者が準備するプログラム以上に、子どもたちがつくりだす遊びや想像力がとても豊かで、こちらがウキウキする時間でした。お子さんが気乗りしないような時も、だんだんに引き込まれて笑顔で身体を動かすようになる変化には、一緒に楽しく遊んでくださるママさんたちや、思い思いに元気に遊ぶお友だちがいてこそ！と思う場面が多くありました。しかも、それは毎回、違う形で現れ、大人たちが予想もつかないような素敵な場面もありました。親子のふれあいのなかで、些細なようでとても大切な出来事のようにも感じました。

事業の評価  
(アンケートなどの結果、良かった点、課題など)

- ・保護者アンケートにより、大変満足しているとの回答が9割以上あった。
- ・参加者延べ人数230人以上の目標について、申込者数については達成予定、実参加者は140人程度と約6割の参加率であることが予想されるが、子育て世帯を対象とした事業の特性上、当日の体調不良や天候、家庭の事情等によるキャンセルが一定数発生したことが主な要因と考えられる。
- ・新たなシステム構築（持続可能な事業にするための方針）⇒検討中

【保護者の声】

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段動かない動きをしてもらえる。</li> <li>・親子でふれあいながら体を動かすことができるので楽しい。</li> <li>・優しい話し方でルールもしっかり教えていただき親子で楽しめた。子どもがニコニコで楽しんでいる。“出来た！”の時を見逃さずほめてもらえ、子どもも嬉しいみたいです。</li> </ul> <p>【良かった点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申込者数230人と高い関心が集まり、事業ニーズの高さが確認できた。</li> <li>・子どもが主体的に遊び、親子・保護者同士の交流が自然に生まれる場となった。</li> <li>・家庭でも取り組みやすいプログラムであった。</li> <li>・継続参加が多く、満足度の高い事業となった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申込数に比べ実参加率が低く、参加率向上が課題である。</li> <li>・子育て世帯特有の事情に配慮した、柔軟な運営体制づくりが求められる。</li> </ul>
<p>その他 (特記事項 等)</p>	<p>指導者が準備するプログラムを超えて、子どもたち自身が生み出す遊びや想像力の豊かさが際立つ時間でした。また、初めは気乗りしない様子だったお子さんも、次第に場に引き込まれ、笑顔で身体を動かす姿が多く見られました。その背景には、保護者の方々が一緒に楽しみながら関わってくださること、そして子ども同士が思い思いに関わり合う環境があると感じます。毎回異なる形で生まれる活動の中には、大人の予想を超えるような印象的な場面も多く、親子のふれあいの中で、日常の中では見過ごされがちな大切な経験が積み重なっていることを実感しました。</p>